

まちかど・ズーム IN!

いつまでもお元気で！

佐藤たかのさんに特別敬老祝金



12月9日に100歳の誕生日を迎えられた福岡深谷の佐藤たかのさん宅を川井市長が訪問し、特別敬老祝金100万円を贈り、長寿を祝福しました。

たかのさんは、大河原町の出身で明治35年生まれ。生年月日など市長の問いかけにしっかりと受け答えされていました。

普段は国会中継や相撲などのテレビ番組を見て過ごされ、よく寝ることと、大好物の魚や果物をはじめ、好き嫌いなく何でもおいしく食べることが、長生きの秘訣とのことでした。

そばを食べて活性化を語り合おう

小原地区で新そば試食会

12月5日、今年小原地区で収穫された新そばの試食会が小原公民館で開かれ、約70人が手打ちそばや「そばはっと汁」を試食しました。

ほどよいコシとのごしさを兼ねた小原地区のそば。検断屋敷とともに材木岩公園内に整備中の休憩施設で、4月から提供される予定です。

試食会後には、まちづくりプランナーの結城登美雄氏を助言者に懇談会が開かれ、材木岩公園の施設を活かした地域活性化などについて、活発な意見が交わされました。



ふるさと学習の一環として

斎川小でころ柿づくり教室

地域の伝統文化を知ってもらい、豊かな心を育てることを目的に、11月22日、斎川小学校の3、4年生21人がころ柿づくりに挑戦しました。



ボランティア友の会の皆さんなどが講師になり、子どもたちは地域の方が提供してくれた600個の柿を次々とむいていきました。

ひもにかけられた柿は、きれいな飴色に仕上がるように硫黄薫蒸されて、校舎のベランダに干されました。

12月中旬にはころ柿が食べごろになり、家に持ち帰って家族みんなで食べるとのことでした。

手づくりのお餅はおいしいね

滝上地区で餅つき体験学習



12月1日、滝上地区で、学校完全週五日制を契機に企画された田んぼ作業体験で収穫した餅米を使い、小学生や父母など約40人が参加して餅つき体験が行われました。

田植えから収穫まで自分たちで行った愛着のある餅米で、子どもたちは競い合うように杵をとったり、あいどりにして、餅つきをしていました。

ついたお餅は、早速雑煮やずんだ餅などにされ、子どもたちは田んぼ作業の思い出を話しながらおいしそうにほおばっていました。

漢字の成り立ちを楽しく学んだよ

白石市漢字文化セミナー開催

生涯学習の一環として、11月29・30日の両日、中央公民館などで私たちが普段使っている漢字をテーマに漢字文化セミナーが開かれました。



11月29日には、市内の小学校5,6年生と保護者など約600人が参加して、「なるほど・ザ・漢字ワールド」と題して講演が行われました。

講師の船橋市立行田西小学校長の土屋先生が、絵や資料を使ったり、会場に問いかけたりと会場参加型の講演を行って、子どもたちは漢字の成り立ちなどを楽しく学びました。

地域の方々と理解を深めました

福祉プラザやまぶきで交流会



12月6日、福祉プラザやまぶきで、ボランティアみなみの会(岩山育也会長)の皆さんが、ボランティア活動の一環として、福祉作業所やまぶき園の皆さんと「お楽しみ交流会」を開きました。

今年で6回目となり、やまぶき園の皆さんも楽しみにしていたこの催し。お菓子を食べながら、みんなで歌ったり踊ったりと楽しく和気あいあいと交流し、お互いの理解を深めていました。